

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究」

岩国市立川下小学校・山口市立德佐小学校・宇部市立琴芝小学校・下関市立長府中学校の4校が、国事業である「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究」の推進校として取組を進めています。

そこで、研究推進校の中間まとめについて、取組の一部を2回に渡って紹介します。今回は、琴芝小と川下小、次回は徳佐小と長府中です。

## 宇部市立琴芝小学校 [http://www3.ube-ygc.ed.jp/kse/]

### 1 特徴的な取組について

〈学び合う学習形態〉

#### ◆学び合う教室づくりに向けての授業改善

##### ○聴き合い学び合う授業づくり

- ・教師は、語る言葉を最小限にして、子ども一人ひとりの発言やつぶやきの声や沈黙の声を「聴く」構えを強める。
- ・子どもの机の配置と教師の在り方を工夫する。コの字、4人組（男女混合）など子どもたちが近い距離で話し合えるようにする。
- ・授業における教師の仕事「聴く」「つなぐ」「もどす」の3つを効果的に行う。
- ・中学年以上では、学習課題のレベルを高めに設定し、4人グループによる協同的な学びを取り入れる。「(挙手)ハイハイ学習」のイメージにとらわれず、学びを成立させることに集中する。



・教師の仕事

#### 「聴く」

- ・その子の発言がテキストのどこにつながっているか
- ・その子自身の前の発言とどうつながっているか
- ・友だちの発言と、どうつながっているか
- ・その子の生活背景と、どうつながっているか

#### 「つなぐ」

- ・テキストと子どもをつなぐ
- ・子どもと子どもをつなぐ
- ・板書と子どもをつなぐ
- ・今日学んだこととこの前学んだことをつなぐ
- ・教室で学んだことと社会で学んだことをつなぐ

#### 「もどす」

- ・走りすぎたときにテキストにもどす
- ・難しくなったときは課題にもどす
- ・グループにもどす
- ・グループで話し合ったことを全体にもどす

・学習形態の工夫

### 2 取組の様子について

「学び合い」を意識した授業づくりに対して、組織的な取組がなされており、全ての学級で、机の配置が工夫されていました。中には、学習活動に応じてグループからコの字型あるいは、一斉からグループへと移動する場面もありましたが、子どもたちはすぐに適応して、自分たちの学習を進めていました。子ども同士が一对一で向き合う基本姿勢も身に付いており、対話や討論などの言語活動が日常的に取り入れられていることが一目瞭然でした。

教師の話に集中し、熱心に聴き取ろうとする子どもの姿も随所に見受けられました。

**岩国市立川下小学校** [http://www.kse.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/]

・特別公開授業

- 1 特徴的な取組について
- ◆一斉授業公開日の設定による授業改善
    - 1週間に渡る互見授業の設定
      - ・学期に1度、全学級が1週間に渡って校内での授業公開を行い、互いに評価し合い、高め合う努力をする。
      - ・授業を参観する際は、規定のシートに気付きを記入し、授業者に返す。シートの内容は、授業について効果的な点や課題などが記入できるよう、8つの観点が示されている。

**【8つの観点】**

- 1 学習の基本的なルールの定着
- 2 認め合う学習集団づくり
- 3 本時の目標設定について
- 4 教材・教具の工夫
- 5 発問や指示について
- 6 自ら考え、解決する時間の確保
- 7 考えを書く時間の保障
- 8 机間指導について

〈対話学習〉



〈授業参観の気付き〉



・校内研修の工夫

- CAPDによる授業研究
  - ・授業研究を行い、ワークショップ研修で授業の成果と課題を浮き彫りにする。次に、本時の指導案を全員で作りに替える。(評価→改善)
  - ・作り替えた指導案を使って、別の学級にて授業を行い、改善点を生かした実践を、自由に参観できるようにする。(計画→実践)
  - ・ワークショップ型研修で出てきた意見をもとに、全員が「明日からの自分の授業で取り入れたい点」を書き出し、研修主任がまとめる。

・授業改善への取組

- 2 取組の様子について
- プロの教師として、授業で子どもに学力を付けたい。そのために、日々の授業をプロ同士で見合い、改善点を指摘し合う関係性をつくっていきたい。そんな前向きな教師集団の熱意を感じました。子どもたちは落ち着いて学習に取り組んでおり、自分なりに考え、表現したり学び合ったりする場がたくさん見られました。協議の中で聞かれた「改善点はすぐに実行しなければだめ。また今度と言っているから、何年経っても変わらない」という意味の言葉に、胸を打たれました。正に、「授業改善は待った無し」です。

**2011 (第65回) 「読書週間」の取組例紹介** 10月27日(木)から11月9日(水)

- ◆縦割り班を活用した読み聞かせ
  - ・上級生が、下級生に本の読み聞かせを行う場を設定する。
- ◆震災に関する書籍コーナーの設置
  - ・被害地に赴いた自衛官の講話を聞く場を設定するとともに、震災に関する書籍を読んで命について考える場を設定する。
- ◆全校一斉の「読書貯金カード」の活用
  - ・年間の取組に加え、読書週間用の記録カードを作成し意欲付けを図り、がんばった人を表彰する。

〈先生からのお薦めコーナーの設置〉

